

楽しい通訳案内士[®] ワークショップ第2回

【歴史-解答】(1)

次の人物の特徴を読んで、下から人物を選んでみましょう。

- ①イタリア人のイエズス会宣教師。1570年に来日。織田信長に信任され、京都を中心に活動し、京都に南蛮寺(キリスト教の教会堂)を、安土にセミナリヨ(キリスト教の学校)を建てた。のち豊臣秀吉の時代に迫害された。 オルガンティーノ
- ②イタリア人のイエズス会宣教師。1579年に来日。織田信長のもとで布教体制を確立し、天正遣欧使節を実現。のちキリシタン版の出版に寄与。 ヴァリニャーノ
- ③イタリア人のイエズス会宣教師。禁教下の我が国に潜入した最後の宣教師。屋久島に渡来したが、捕えられ、江戸で牢死。彼の尋問から新井白石の「采覧異言」「西洋紀聞」が成立。 シドッチ
- ④ドイツの医者・博物学者。オランダ商館医として1823年に来日。鳴滝塾を開き診療・教育を行う。帰国時に日本地図の持ち出しが発覚し国外追放となるが、のち解除され再来日。 シーボルト
- ⑤アメリカの宣教師・医師。日本滞在中(1859-1892)、伝導・施療の他に我が国初の和英辞典「和英語林集成」の編集や聖書の和訳を行う。 ヘボン
- ⑥ドイツの医学者。1876年に来日し、東京医学校で教える。伝染病予防などにも尽力して我が国の医学の発展に貢献。 ベルツ
- ⑦アメリカの動物学者。1877年と1882年に来日。大森貝塚を発見・調査。 モース
- ⑧イギリス出身の作家・英文学者。1890年に来日。松江中・五高・東大などで教鞭をとりつつ日本研究を海外に紹介。小説『怪談』など。 ラフカディオ・ハーン
- ⑨アメリカの哲学者・美術研究家。1875年に来日。東大で哲学を講義。新しい日本画の創造を提唱し、弟子の岡倉天心と共に美術学校創設。 フェノロサ
- ⑩イギリスの建築家。1877年に来日し我が国初の工業教育機関である工部大学の教師として建築家の養成に尽くす。鹿鳴館を設計。 コンドル

フランシスコ・ザビエル ベルツ ラフカディオ・ハーン クラーク

ペリー オルガンティーノ ヘボン ヴァリニャーノ モース

シーボルト ハリス シドッチ フェノロサ コンドル ナウマン

楽しい通訳案内士♪ ワークショップ第2回

【歴史-解答】(2)

次の作者と作品の組み合わせが正しいければ○、間違っていれば×を()内に書いて、×の場合は正しい作者を書きましょう。

- ①『東海道中膝栗毛』 — 滝沢馬琴 (×) 正しい作者: 十返舎一九
- ②『おらが春』 — 小林一茶 (○) 正しい作者 _____
- ③『若菜集』 — 与謝蕪村 (×) 正しい作者: 島崎藤村
- ④『たけくらべ』 — 樋口一葉 (○) 正しい作者 _____
- ⑤『西洋事情』 — 森鷗外 (×) 正しい作者: 福沢諭吉
- ⑥『笈の小文』 — 松尾芭蕉 (○) 正しい作者 _____
- ⑦『唐獅子図屏風』 — 狩野元信 (×) 正しい作者: 狩野永徳
- ⑧『徒然草』 — 吉田兼好 (○) 正しい作者 _____
- ⑨『好色一代男』 — 上田秋成 (×) 正しい作者: 井原西鶴
- ⑩『夜明け前』 — 島崎藤村 (○) 正しい作者 _____

■ 下の絵画のタイトルは何でしょう。 ポッピンを吹く女 (ビードロを吹く女)
(喜多川歌麿)

